

あいちトリエンナーレ 2016

岡崎地区 開催記念

ようこそ

岡

OKAZAKI

崎

岡崎アート広報大臣オカザえもんの

アート発見BOOK

アートのなもの撮影&コメント：
岡崎アート広報大臣オカザえもん

この冊子を持って
街なかのアートを発見してください～

【康生編】



まえがき

例えば皆様、突然でござるが「威張ってる人」「自慢する人」は好きでござるか？

せっしやはどうかと聞かれれば、正直あんまり好きでないでござるよね。

話は、また突然変わるでござるが「人の形をした大根」というのが時々話題になったりしますよね、偶然、人の形に似てしまって、とても面白いでござるよね！

そのときね、大根は「俺は人の形だぞ！どうだ！」と威張ったり、自慢したりはしないでござるな、大根だから。

つまりでござるね、街なかを歩いて発見するのが面白いのは、「俺、芸術作品だぞ、どうだ！」とは言ってないもので、あふれているからでござる。威張ったり自慢したりしてないからでござる。

「人の形をした大根」を見つけるように、「ARTの形をした街のなにか」を発見してみてください。

ここでせっしやが紹介したのはあくまでも一例で、考え方のパリエーションとして、わかりやすいようにチョイスしたもので、実際はもっと面白いものがあると思いますので各自で見つけてみてください。

岡崎アート広報大臣 オカザえもん

【このBOOKの楽しみ方】



①この冊子をもって、街なかへ繰り出すでござる

②せっしやが紹介しているアート(的なもの)を探しつつ…



③みなさまがアートだ！と感じるものを探してください。

④そして、新たな発見があれば、いろんな人に紹介したり、フェイスブックに投稿したりしてください！

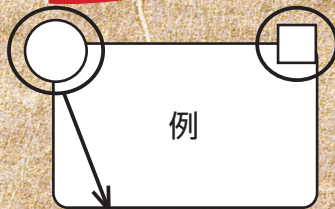


注意点でござる～。よく読んでくだされ～。

- ◎許可なく私有地に入ったり、個人（もの）を撮影したりしてはダメでござる～。
- ◎個人のを撮影される際は、所有者に許可をもらってください。そして会話を楽しむでござる～。
- ◎「ながら」探しは危ないでござる～。冊子を見ながら歩いたり、撮影しながら歩いたりしないでください。



オカザえもんがみつけたアート



チェックボックスでござる。
発見したら☑してください～。

例

どこにあるかのヒントでござる。

P.10、11のMAPのエリアを示しているでござる。微妙にずれていたらんべんでござる～。

何がアートかは、他人が決めるのではなく自分で決めればOKでござる！感性のまま探してみるでござるよ！



エリア1

1-A



建築は建築としてつくられており、彫刻ではないでござるが、風景のなかで、ときに彫刻や絵画のような表情が現れることがあるでござる。ピンク色に緑色のアーチ型の屋根が連続する、それは大きな筆で風景に描かれたピンク色の太いラインにも見えるでござる。街なかにある建築物の形にも注目でござる～。

1-C



これは素晴らしい龍の石像でござる～ここでさらに見て欲しいのは、1995年作83歳戸松さまの作品だという刻印でござる～。この他にも岡崎公園にはさまざまな石の彫刻がございますが、このように制作年や作家名にも着目してみてください～。



1-C



これは塀の側面でござる～、本来、塀は正面から見るものでござるが、このように横からみてその断面をみるとまた違った形が浮かびあがってくるでござる～。



エリア2

2-C



この石でできた十三重塔、よくお寺で見かけますよね！この岡崎公園の十三重塔を見たときに真っ先に頭に浮かんだのが、ドナルド・ジャッドの彫刻でござる。連続する四角形。このように本来の意味と切り離して形だけを見てみるのも楽しいでござるよ。



こんなアートもお楽しみくださいませ～

2-C

これは公園にある木でござる。自然の森の中にある木とは別に人が剪定しております。この木も切られたりしてコントロールされた部分と、人がコントロールできない部分とでできた形でござる。人が作る形と、そうでない自然の形の違いについて見てみてくださいませ～。



2-C



これは狭間でござる。その歴史的事とは別として、この穴の形を穴ではなく、有るものと受け取って感じてみてくださいませ。この虚の空間を形を純粋に形態としてみてくださいませ。

2-B



伝統的な橋などにみられる擬宝珠が、現代のものである歩道橋についております。「こ、これはもしかしてポストモダン建築？」という大げさなものでなく、岡崎公園内にある、お城の形の電話ボックスと同様、お城の景観にあわせてあるのでござる～。また、唐突に歩道橋についているので、ブランクーシの作った抽象彫刻のようにも見えるでござる！

エリア3

3-B



簡略化、抽象化された、すばらしい笑顔の絵画。夫婦でござりましょうか？顔の傾きは鑑賞者の正面を向いているのと同時に、描かれた男女が向き合っているように感じさせるテクニックでござる。街には看板が沢山ありますので、あらためて絵画と解釈して注目して見てください。

この歩道のタイルでござるが、1つのピースを連結させて模様を作れるようになっておりますが、その連結が現実の歩道に対応しきれず、生まれるズレ。このズレの美しさを堪能してください。

3-B



足元に注目でござる！



エリア4

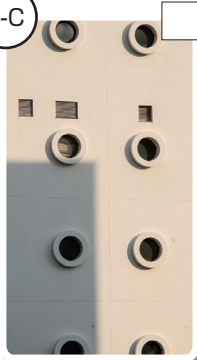
4-A

頭上にも注目！



これは街灯でござる～。これは、この街灯がどうというわけではなく、街なかの街灯は通りによってデザインが違うということを言いたいでござる～。ぜひ街灯でデザインの種類の多さや違いをチェックしてみてください。

4-C



これは完全に機械の一部でござるが、まるでオブジェのように街なか立っております。面白い形をしております。街なかには作品として設置された彫刻との違いは何かを考えたりするでござる～。

4-B

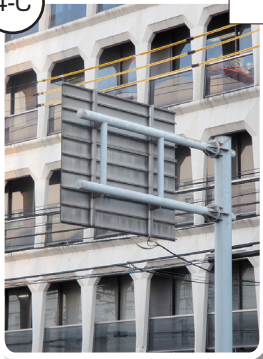


これは歩道橋からみた建物でござる。窓が丸く並んでいて面白いでござる。康生には面白い形をした窓の建物が他にもあるので注意して見てみてください。また、歩道橋から風景を見ると、いつもと違った視点で街を見れます～。歩道橋のふもとにあるお地藏さんもあります。

普段と目線の高さを
変えてみるでござる！



4-C



これも街中を歩いているときに、建物の窓の形が面白いので撮影したのですが、手前に標識が入り込んでいるのでござる。単体でものを見るのではなく、建築構造の格子状の模様と標識の裏側がクロスしているという点に注目ござる。さらに電線の線も映りこんでおります。このように街なかの風景は、見ようとするものとは別のものが入りこんでくる複数の要素の重なりでござる。

これは、二十七曲りコースの案内柱。「金のわらじ」が目印でござる。これを案内柱でなく、わらじの彫刻だと思って見てくだされ。「いや～それむりっしょ」と思うかと思いますが、そこがポイントでござる。1分の1スケールでリアルに再現された見事なまでの金色の「わらじ」。台座(柱)の部分が無地の白色だったら、彫刻に見えるのかな? じゃあ、作品かどうかの判断は台座の色が決めているのか? 曇りなきまなこで、見てくだされ。

4-A



エリア5

5-C



イートインできるスペースがあることを示す国道1号沿いのコンビニの看板でござる～。車を運転する人が遠くから一目でわかるように描かれた、コミュニケーションとしての絵画でござる。相手に何かを伝えようとする気概を感じるでござる。

椅子に座りテーブルにあるホットコーヒーを飲む、そんな情景でござる。右足を少し引いて左足を少し前にだすように人物を描くことによって、リラックスしている様子が見事に表現されておりませぬ。このように極限まで簡略して描かれた中にも、さりげないしぐさやポーズで人物の感情を表現しているでござる!

題名が「親子」の彫刻でござる。題名を見ないで見たらどうでござろう? 「親子」という題から連想するものはどんなものでござろう? ここから籠田公園に向かう道には抽象具象合わせて複数の彫刻作品がありませぬ。

5-C



歩道には、車よけのボールの替わりに、石でできた彫刻のようなものも複数ありませぬ。こちらには台座がありませぬ。この石の車よけと、この台座にのった石の彫刻を比較してみてもござる。

5-C



これは、それぞれ太さの違う円柱のものが身を寄せ合って仲良くしているのでござる～。空間や量感という観点から同一方向に伸びる物の集合体という立体作品制作のアプローチとして見てみてくだされ～。

せっしゃも仲間にいられてくだされ～



この達筆な文字!この文字を書道作品として見てくだされ!勢い、読みやすさ!そしてこのメッセージに鳥居のマークを入れる日本の倫理感、慣習を感じとってください～。

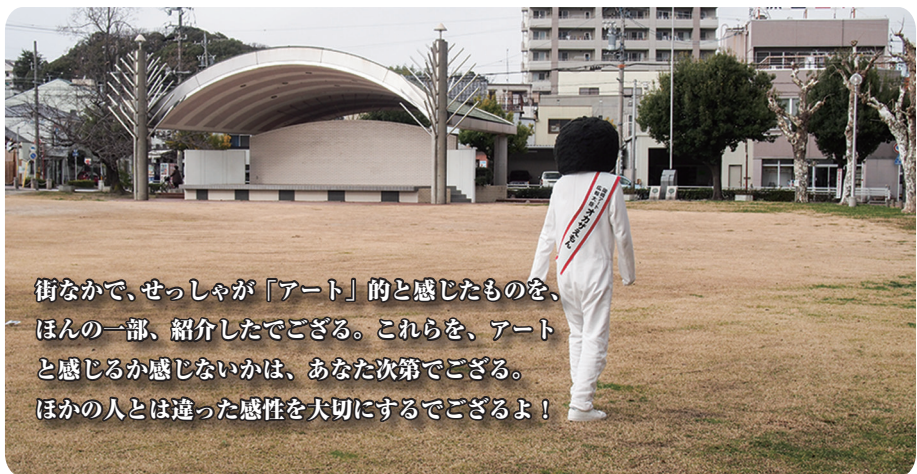
6-A



エリア6

6-C

建物の壁の錆でござる。世の中には錆マニアがいたり、錆の写真集があるくらい人気の錆でござる。これは新しく貼り直したところと古いところのコントラストがはっきりしていて絵画の様で面白いでござる。この先に六地藏さんがいるでござる。



街なかで、せっしゃが「アート」的と感じたものを、ほんの一部、紹介したでござる。これらを、アートと感ずるか感じないかは、あなた次第でござる。ほかの人とは違った感性を大切にしてくださいよ!



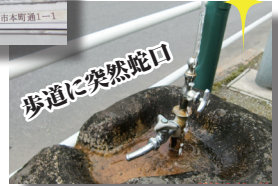
かわいい顔でござるな



自然がつくるアートでござる



風化具合がよいでござる



歩道に突然蛇口



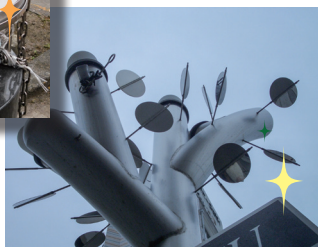
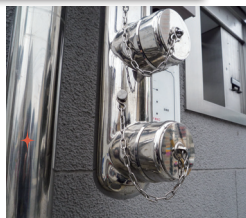
小学生がみつけたアート



2016年2月開催の『オカザえもんと歩く「まちなかアート」発見ツアー』にて、小学生が発見したアートのなものでござる～。
こちら、探してみてくださいませ～。こちらはノーヒントでござる！
※形が変わっていたり、なくなっていたりしたら勘弁してくださいませ～

洗濯機の中に鉢植え！？





微妙に見ている方向が違うでござる

オカザえもんと歩く「まちなかアート」発見ツアー



当日は、岡崎の若手アーティスト香田ともこさんにコーディネートしてもらい、まちなかのアートを探したでござる～。何気なく歩くのではなく、アートを探しながら歩くことの楽しさを感じてもらったでござる。ご参加いただいたみなさまとボランティアのみなさまに感謝でござる～。

【詳細 MAP】 康生



黄色の四角は、あいちトリエンナーレ 2016 岡崎エリアの会場であった場所です。「あいちトリエンナーレ」は、3年に1回、愛知県内で開催される国際芸術祭で、岡崎では、2013年、2016年に開催されました。



【広域 MAP】



みなさんの発見した 岡崎の街なかアート募集中！

岡崎の街なかで発見したアートを、ぜひ皆さんに紹介してほしいでござる。

「！」と思ったもの、「？」と思ったもの、「…」と思ったもの、アートと感じたらどんなものでも大丈夫でござる。ぜひ、フェイスブック「岡崎まちなかアート発見」に投稿してござれ！岡崎市内なら、康生以外の地区でも OK でござる！

- ・ 公序良俗に反する投稿はやめてござれ。
- ・ 個人情報投稿しないござれ。
- ・ ほかの人のアートと思ったものを否定せず、「なるほど！」や「ほ～」や「いいね！」とあたたかい気持ちで見るとござるよ。

【お問合せ先】

岡崎市文化総務課 TEL：0564-23-6976

発行：岡崎市 2017.3.3 1,000部

実はせっしゃもアート作品

